

介護士へ奨学金活用を

八戸

側は学費の心配をすることなく勉強に専念でき、施設側にとっては即戦力となる人材確保ができるなど、双方にメリットがある。

八戸学院大で19日、短期大学部介護福祉学科1年生を対象にした奨学金説明会が開かれた。同学科で介護士を目指す学生が、社会福祉法人などの事業所が行う奨学金制度を活用した学び方について関心を高めた。

同学院で介護学科の学生を対象にした企業による奨学金説明会を開催するのは初めて。八戸市の青南病院とS.Gグループ、五戸町の東北産業がオンライン会議システムを活用して、学生らに事業所概要や奨学金の説明をした。

人材不足が深刻な介護業界では、将来の担い手確保に向けて、介護を学ぶ学生を支援する給付型の奨学金制度を導入する法人が増えてきている。学生は卒業後、学費を支援してくれた法人に一定期間就業すると返済を免除してもらえる。学生

同学科の赤羽卓朗学科長は「奨学金制度のことを知ること、介護現場の仕事を知ることにもつながる。地元の学生が地元で活躍するには地域の協力も欠かせない」と話している。

(三浦千尋)

事業所が八学大で説明会

奨学金制度について事業所の説明に耳を傾ける学生ら

